

# 「コンプライアンスの基本的な考え方」

## 経営者研修会を開催

●一般社団法人山梨県一般廃棄物協会

TOPICS

山梨県一般廃棄物協会(篠原充会長 会員数7組合)は、5月28日の通常総会の開催に合わせて、岡本新一氏(山梨中銀経営コンサルティング(株)経済調査部部長)を講師に、「コンプライアンスの基本的な考え方」をテーマに講習会を開催した。

最近、企業のコンプライアンス(法令遵守)が厳しく問われ、企業の存続を左右しかねない大きな事件も発生している。そこで、企業経営を続けていく上で、注意しなければならない会社の業務管理や従業員の意識



講師の岡本新一氏

改革をどのように進めるのかを理解してもらうために、会員企業の経営者を対象に開催した。

講習会では、「コンプライアンス違反はちょっとした不注意から起こるものであり、法的制裁(罰金等)もあるが、それ以上に、多額の損害賠償の訴訟になったり、社会から信頼を失うことで取引解除や売上減少など企業にとって致命的ともいえるダメージを受けることにもなりかねない。」また、「コンプライアンスの実践には、ミスや問題を早期に発見し、被害を最小限に抑える体制づくりが求められる。問題があった場合、隠さずに直ぐに報告・相談するという社員の意識改革と、些細なことでも情報を迅速に共有できる風通しの良い職場づくりが重要である」と身近なところから意識や組織を改革していくことの重要性が説明された。

篠原会長は「我々の仕事は、市町村からの委託



研修会の様子

業務や許可業務であることから、社会的な信頼を維持していくためにも、コンプライアンスへの取り組みは早急に進めなければならない。社員の意識改革や風通しの良い職場づくりといった難しいところから進めることの重要性が理解でき、非常に勉強になった。」と語った。